

# 島根県立中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	出雲市における急性冠症候群の長期的な出血性合併症の関連因子についての検討
研究期間	2021年2月5日～2025年3月31日
対象患者	2009年8月から2018年7月までに島根県立中央病院で急性冠症候群（急性ST上昇心筋梗塞、非ST上昇心筋梗塞、不安定狭心症）と診断された患者さん
調査対象期間	2009年8月1日～2018年7月31日
研究機関の名称	島根県立中央病院、島根大学医学部附属病院
実施診療科	循環器科
研究責任者	小田 強
意義・目的	急性冠症候群の急性期治療が完了した後の、長期的な出血性合併症の頻度や関連因子について、本邦の実臨床における報告は少なく、不明な部分が多いです。そこで本研究では、本邦の実臨床症例における急性冠症候群症例の長期的な出血性合併症について、頻度や関連因子を評価することを目的とします。
研究の方法 (試料・情報の利用方法・他施設への提供方法を含む)	電子カルテ等を利用して、「利用・提供を受ける試料・情報の項目」に示す項目を抽出します。退院日から2年以内の、大出血イベント（BARC基準3度以上）合併の有無を評価します。大出血を起こした症例、起こしていない症例に2分し、背景因子を比較し、関連因子を検出します。
利用・提供を受ける試料・情報の項目	年齢、性別、急性冠症候群の種類、CK上昇の有無、喫煙歴の有無、飲酒歴、発症から受診までの時間、BMI、検査値（退院前の、推定糸球体ろ過量、BNP、CRP、LDL、PT-INR）、血圧、合併疾患の有無（高血圧、糖尿病、脳梗塞の既往、心筋梗塞の既往、PCIの既往、CABGの既往、肝疾患の既往、アルコール依存症の既往、出血性疾患の既往）、退院時服薬の有無（抗血小板剤、抗凝固薬、ACEI/ARB、β遮断薬、Ca拮抗薬、ループ利尿剤、アルドステロン拮抗剤、スタチンなど抗脂質製剤、抗糖尿病薬、インスリン）、退院日より2年間の大出血イベント合併の有無等
試料・情報の提供の有無	試料・情報の他施設への提供 あり・ <b>なし</b> (ありの場合、海外の施設への提供 あり・なし)
個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。
結果の公表	投稿論文として公表します。
備考	

\*\*\*\*\* お問い合わせ先 \*\*\*\*\*

島根県立中央病院  
医療局長 小田 強  
電話：0853-22-5111(代表)

事務担当：臨床研究・治験管理室  
電話：0853-30-6590(直通)

\*\*\*\*\*